

こぶし だより

働こう障害者も

SSKW

働けるんだオレたちも



製品

「箱折りの作業です」（第2けやき作業所）

CONTENTS

- ① トピックス 2P~3P
- ② 特集「第31次国会請願、不採択！」 4P~5P
- ③ ふれんどパーク 6P
- ④ こぶしサポーターズ 7P
- ⑤ アドレス・編集後記 8P

No.322

2008

7

トピックス

Topics

いぶし作業所

「おみせやさん(くるが)が
 NHK-FMで紹介されました」



おみせ やさん

NHK-FMのラジオ番組「とちぎ六時です!」の六月一日(水)の放送で、午後六時から七時までの間、合計約二五分にわたって、しのいの郷の施設長とくるがの職員代表がゲストとして生出演しました。

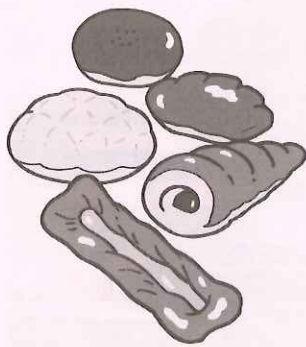
番組内容は、「おみせやさんオープン一周年」ということで、お店の紹介や店内の様子、目指していることや今後の活動などについてのインタビューでした。ラジオを聴かれた方はもちろん、聴き逃してしまった方も、この機会にまたぜひいらしていただく。

県東ライフサポートセンター真岡

「真岡パン販売開始!」

五月より、県東ライフサポートセンター真岡がパン販売を開始しました。けやき作業所からパンを買い取り、真岡の商工会議所、郵便局など数か所を回っています。販売はスタッフ一名とメンバー二名の計三名、場所によっては次々とお客さんが来るので、あわてて計算や袋詰め、一齐にパンが売れていく光景は見ている爽快感です。売れ行きも好調で、その分みんなの工資にも期待ができるかも?

今はまだ毎週一回、木曜日だけの販売ですが、今後は徐々に販売先を増やしながら少しずつ販売日数を増やしていこうと思います。真岡地区の皆様、よろしくお願いたします。



けやき作業所

「熱気球ふれあいin高根沢
 パン販売参加」

去る七月五日土曜日。毎年恒例となった「熱気球ふれあいin高根沢」主催のパン販売に参加しました。自閉症などの発達障がい、知的障がいのあるお子様がいるご家族を対象としたふれあい企画で、参加者・ボランティアあわせて三五〇人以上の参加がありました。イベントは天候にも恵まれて大盛況でしたが、当日は三〇℃を超す猛暑。かき氷や冷やしようどんが飛ぶように売れる中、山積みになったパンを前に少々不安なスタートを切りました。

販売参加人数は五人、パン販売を忘れて買ったかき氷の数は八個。冷やしようどんも八個。ジュースは十本。猛暑に汗をかきながらも「おいしいパンだ。」「知ってるよ。」と、お客さんが集まりだして四〇〇個近く持つて行ったパンがお昼過ぎには完売。何度も足を運んで買ってくれたお客さんも多数いたこともあり大満足。かき氷を食べながら完売を喜んだ、暑くも楽しい販売でした。

第2けやき作業所

「職場見学会に参加しました」

六月二〇日にチャレンジセンター主催の職場見学会に利用者六名、職員一名が参加しました。この見学会は、チャレンジセンターに登録されている就労意欲のある方に実際に障がいのある方が企業で働いている様子や職場環境などを知る目的で行われ、見学場所として郵便事業株式会社真岡支店、ホテルルートイン、(有)真京精機の三社を見学させていただきました。

企業の現場では、就労されている障がいのある方から仕事内容の説明、就職後の体験談をじかにお聞きすることができました。また、障がいのある方と従業員の方との仕事のやりとり、企業側の障がいに対する理解の把握、仕事に対する姿勢が見ることができて就労支援にたずさわるにあたり就労支援員としても参考になりました。今回の見学を就職につないでいけるように、企業実習や他の利用者に対しての職場見学を計画し、就労支援を進めていきたいです。

《見学後の参加者の感想》

- ・三社に行って思ったことは、どれも裏方の仕事だけど、光って見えた。
- ・イキイキと仕事をしている仲間の姿が印象的だった。
- ・障がいのある方も信念をもって仕事をすることが必要であることがわかった。
- ・いずれの会社とも障がいに対する理解のある会社だと思った。



お昼休みにファミレスで昼食を食べました♪

県東・央圏域障害者就業・生活支援センター

「第2回休日交流会終わる！」

この休日交流会は、センター登録者の方で、継続的な定着支援を必要とした在職中の障がい者を対象とした交流会です。

去る七月二六日「今宵花火で大混乱」と題して、真岡市の夏祭り花火大会にあてて参加者の皆さん・センター全職員+αで、楽しい夏の一夜を満喫しました。

四時からは、ザ、座談会(自由討論会)を開催し日頃のストレス、今考えている事、これからの事などを語り合い、いろいろな意見の中充実した討論会を催すことができました。

五時三〇分、町に繰り出し、皆さん思いおもしろい物を屋台で買い込み、センターの前から百万ドルの花火観覧!

目の前の花火に吸い寄せられる中、いつの世もまつりの後は淋しいもの、静かに時が過ぎて行きました。

最後に、参加者の方より「海に行きたい」「スポーツがしたい」などの要望もありました。

立支援法の抜本的見直しの検討」を公約に掲げ、与党プロジェクトチームにより「抜本的見直しに向けた報告書」がまとめられ、厚労省の「障害者自立支援法の抜本的見直しに向けた緊急措置」施策化に結びついていきましたが、応益負担制度や事業費の日払い制度の撤回には着手せず、介護保険制度への統合への火種を残したままです。

※第31回目の今回は全国から130万筆もの署名が集められました。「抜本的見直し」と銘打った7月からの緊急対策も、小手先の対応だけで、根「本」を「抜」くような見直しには全くなっていません。いつも自民党には肩透かしをさせられている、そんな気がしてなりません。昨年9月に障害者権利条約に署名をした日本。まずは、「私たちの声を聞いて！」と声をとどけ続けなければいけません。

国会請願参加者の感想

国会請願では議員さんに逢えなかったのが残念でした。

その後の議員さんとの懇談会では僕が質問したことに議員さんが答えてくれなかったのがやっぱり残念でした。
けやき作業所 直井 信也

5月29日に先灘さんと東京へ国会請願に行ったのだが、衆議院第一議員会館会議室でその先灘さんに応益負担について説明をされてもイマイチ飲み込めなかったおれがセルブ・みらいの代表として力になれたかどうかちょっと疑問なんだよなあ。
セルブ・みらい 竹村 達夫

早起きをして新幹線に乗り、国会議事堂へ向かいました。服は普段のとは違うきちんとした服を着ています。初めて見た国会議事堂はとても大きかったです。雨が降る中、全国からたくさんの方が集まっています。議員さんには会うことができませんでしたが、秘書の方に名刺と署名を渡すことができ良かったです。皆が終わった後で感想を書いていたのですが、私はまだ日本語に自信が無いので見ているだけだったことが残念でした。日本語の勉強は今も頑張っています。
こぶし作業所 楽摩 ロナルド カズオ

あいにくの雨の中でしたが、全国にいる仲間の現状の切実な訴えや願いを短い時間の中で話し合いをしてきました。仲間の悲痛な叫びを聞き、何とも言えない気持ちになりました。今回初めて参加させてもらって、自分はものすごく恵まれていると感じました。一日も早く、仲間の願いが、この国会請願を通して叶えば良いかと願っています。訴え続け、わかってもらおうことのおずかしさからよけいにそう感じる初参加でした。
第2けやき作業所 高岡 美恵

私が国に対して言ってきたことは、障害者自立支援法の応益負担制度はなくしてしまっ、障がい者の立場に立った法案か、なくすべきだと思います。

当日12時から13時まで休憩をとって13時から栃木県の議員から訴えようとしたのですが、議員は本会議場に行ってしまったため、秘書に訴えました。何となく、自分の言いたかったことが、議員に届いたのか疑問です。一議員さんに、私たちの気持ちがわかるといいな～。

第2けやき作業所 見形 博美

全国よりたくさんの方が議員会館に集合し、熱心に現状の改善の訴えをされていました。初心の私も心打たれ議員一人一人にお願いして来ました。明るい光が見えることを希望しています。

けやき作業所 磯 充子

ご協力いただいた方々には紙面にしてお礼申し上げます。今回は残念な結果に終わりましたが、これからも障がいのある方々が安心して働き、暮らせる施策の実現を目指す運動にお力をお貸しいただけますよう、よろしくお願い致します。

第31次国会請願、不採択!

特集



こぶしの会では第31次国会請願署名を5月29日(木)に各作業所の代表が国会に届けました。※しかし、今次の請願・署名は、衆・参両議院ともに不採択になりました。

不採択となったのは、与党が採択に反対したためです。衆議院では、「請願項目にある応益負担制度、障害程度区分のしくみを変えると、現在の制度自体を変えることになるがそれはできない」、参議院も「応益負担の撤回の要望は受け入れられない」ということがその理由です。

以下が第31次請願内容です

■請願項目1

応益負担はやめてください。また、作業所や施設のお金は安定した運営ができるように増やしてください。

応益負担制度が始まる前と始まった後では施設に払うお金が1ヶ月分で1万~2万増えたという人がいちばん多いことが分かっています。また障害者自立支援法になって、施設も運営がたいへんになりました。

■請願項目2

小規模作業所が「個別給付」の施設に移れるようにしてください。また、それまでの間、小規模作業所への補助は続けてください。

「個別給付事業」になるには、通所する人たちが「20人以上」などの決まりがあります。小規模作業所は国からもらえるお金は、「個別給付事業」の施設と比べると、とても少ないのです。小規模作業所の運営を支えるためには、都道府県からでるお金が必要不可欠なのです。

■請願項目3

障がいのある人びとが働いたり暮らすのを支える国のお金を大幅に増やしてください。いままで課題になってきたのに解決されていない問題が他にもたくさんあります。これからも早い時期に解決してください。

日本は障がい分野に使っているお金が他の国と比べると、とても少ないのです。このままでは、障がいのある人たちが安心できる生活を送ることなどできません。また、「社会資源を増やす」「所得の保障」「障がいの範囲を見直す」などの解決されていない問題を一刻もはやく見直してもらうことを望んでいるのです。

障害者自立支援法の問題を多くの人に訴え、見直すための方法として国会請願運動があります。今、作業所に通う人たちは、工賃よりも高いお金を払って来ています。障害者自立支援法が決まってから、「応益負担」という名前で、お金を払わないと作業所は利用できません!となってしまいました。全国では同じように、お金を払うことに「おかしい」と感じ、「応益負担をなくそう!」「障害者自立支援法を変えよう!」という声があがって、だいぶたちますが、第30次請願・署名は衆議院・参議院とともに、「おかしい」という思いは通りませんでした。政権が福田総理大臣になってから、「自

けんとう

も おか

県東ライフサポートセンター「真岡」

ちょうり じっしゅう

調理実習をしました!

5月27日、県東ライフサポートセンター真岡で調理実習を行いました。今回のメニューは、話し合いの結果「餃子・タマゴスープ・ごはん」に決定。

メンバーの中に中国出身の方がいるため、なんと皮からつくることに! いざ皮を作ってみると、これがなかなかむずかしく、「なかなか丸くならないな〜」「四角くなつた〜」との声。そんななか、中国出身のメンバーさんはいともかんたんに丸い皮を次々と…。やっぱり本場の人は違うなあ、とみんなで感

心しました。完成した餃子はとてもおいしく、しょう油などを付けなくてもしつかりと味がついた一品に仕上がりました。次はどんな料理を作るか楽しみです。

ふれんどパーク



本場の技です

▼できあがり〜



▲うまく丸くできるかな…

▼みんな真剣です!



セルフ・みらい

ましこ やき たいけん

益子焼・体験!

けやき作業所から借りたバスの中で、なかに質問。「今日は何を作る?」最初は、うーん?と考えていたなごまも、コップ・皿・湯のみ・アニメのキャラクターなど、作るものをしっかり考えてきたようです。

6月7日 益子まちづくり(株) 友愛作業所にて、益子焼体験!!ということ
 でセルフ・みらいから文化班・クッキング班合同で参加しました。

友愛作業所・施設長 成田さんのご好意により、陶芸家の二階堂さん、加藤さん、渡辺さんが講師をつとめてくださいました。みんな、講師のアドバイスを熱心に聞きながら、自分の思い描いていた形にするために土を付け足したり、減らしたりしながら黙々と作業に打ち込みます。思い思いに作られた作品に名前を入れ今日の作業は終了。このあと窯にいれて焼き7月には完成するとのこと。どんな形・色になっているか楽しみです。



▲よいしょ〜♪



こぶしSupporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

きょうされん (夏季物品販売はじまりました! ご協力よろしくお願いします!)

こぶしの会の作業所では、障がいのあるなかま達が毎日、弁当・パン作り・販売や下請け作業・アルミ缶回収等に取り組んでいます。平成18年10月より障害者自立支援法が施行され、なかま達は賃金よりも高い利用料を払って、通所するという厳しい状況に置かれているなかで、夏季物品販売の収益金は、ボーナス等に当てられます。

今回も、「いいtomo Tシャツ」をはじめとした各種縫製衣料品や、「味とくらしの特選品」(食料品)の販売を行います。お中元ギフトも種類豊富に取りそろえております。

品質はよいものばかりですので、どうぞみなさまご協力をよろしくお願い致します。カタログもご用意いたしておりますので、最寄の作業所までご連絡ください。連絡先はこぶしだよりの最後のページに載っております。

保護者会環境整備

去る6月14日(土) けやき作業所等保護者会の事業活動の一環として環境整備活動を行いました。今年度初めての事業活動でしたが多くの保護者の方々が梅雨休みの暑い中お互いに協力しながら草刈り等けやき作業所の外観の清掃をして下さいました。おかげさまで門柱をはじめ外観がすっきりして利用者も気持ちよく作業に入れるようになりました。また、環境整備終了後、第1回保護者会懇談会をけやき作業所食堂にて行い、保護者の自己紹介や今年度の保護者会事業活動について会長より説明があり、所長からけやき作業所の現状報告をしたり、作業所に対する要望等を出し合うなど、1時間程活発な話し合いができました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

スウィートピーの会から車を寄贈していただきました

このたび、けやき作業所に新しい車が仲間入りしました。といっても新車ではなく、上三川町のスウィートピーの会(会長:市田トモ子さん)からの寄贈車「たけのこ号」です。

たけのこ号は町商工会議所から障がい者の学童保育の送迎車として活躍し、そして今度は成人期障がい者の作業所へと活躍の場を移すことになったのです。スウィートピーの会のみなさん、町商工会議所のみなさん、本当にありがとうございます。

大切に使用させていただきます。

社会福祉法人
こぶしの会

- **こぶし作業所** ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
 TEL 028 (613) 5703
- **こぶし作業所生活支援センター**
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
- **こぶしのときわ荘** ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (667) 5531
- **く る み** ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0414
- **けやき作業所** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
 ・法人事務局
- **生活介護事業けやき作業所**
 ・生活介護事業
- **第2けやき作業所** ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・就労移行支援事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- **県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」** ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・地域活動支援センター
 TEL 028 (687) 0311
- **県東ライフサポートセンター「真岡」** ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
 ・地域活動支援センター
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
- **すずらんの家** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
 ・知的障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 4430
- **けやきハイツ** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2876
- **第2けやきホーム** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0776
- **コ ー ポ 峰** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
 ・知的障害者ケアホーム
- **セルプ・みらい** ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・知的障害者通所授産施設
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
 ・日中一時支援事業
- **ぼ て っ と** ☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
- **芳賀地区障害児者相談支援センター** ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
- **県東・央圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」** ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 ・障害者の就業相談・支援
 TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください (閲覧時間8:30~17:00)

編集後記

障害者自立支援法が施行されて3年目を迎え、第2けやき作業所では就労移行支援事業所に移行してからこれまで5名の就職者を送り出すことができました。就職された方に時々お会いする機会があるのですが、表情やことばにより一層力強さを感じられます。きっと私の気のせいではないでしょう。今後も多くの方に現状を理解していただき、よりよい生活を送っていただくことができるようがんばらねばと思う一場面でした。 (第2けやき：菊地)

編集委員

菊地 豊 松本 裕生 枝 雅紀 稲村 淳彦 星野 早苗

発行所 郵便番号 257-0873

東京都 田代区 碓六 一 二六 一 二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円